

りべん! 猿沢 10

2014.12.15 発行

豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る



もくじ

- ◎朝日駅伝大会への取組
- ◎各集落秋のイベント報告
- ◎まちづくり協議会主催のイベント報告
- ◎おらだりやねらだりの宝もの
- ◎そばの収穫で交流
- ◎ねら、知ってだが〜?
- ◎冬のお楽しみ行事
- ◎あとがき

1P
2P
3P
4P
4P
4P
4P

結果発表(出場29チーム)

猿沢モンキース(猿沢)
タイム…2時間20分15秒
順位…6位(昨年12位/一昨年15位)

鷹取RC(下ニヶ村)
タイム…2時間24分15秒
順位…9位(昨年4位/一昨年12位)

猿ザイル(松原・板屋越)
タイム…2時間28分46秒
順位…13位(昨年16位/一昨年19位)

猿沢AKB(女子)
タイム…2時間59分00秒
順位…29位(昨年27位/一昨年26位)

- ◎猿沢モンキース**
①高橋健 ②高橋歩夢 ③高橋直紀 ④高橋陽太
⑤高橋佑史 ⑥小田健人 ⑦齋藤結意 ⑧高橋文哉
⑨鈴木優輝 ⑩高橋駿太
- ◎猿ザイル**
①横井勝見 ②高橋寿博 ③佐藤栄音 ④佐藤聡太
⑤皆川正志 ⑥佐藤大志 ⑦増子誠一 ⑧増子雷魁
⑨佐藤力 ⑩太田和寿
- ◎猿沢AKB**
①鈴木健次 ②高橋奈菜 ③太田登茂子
④太田和可奈 ⑤玉木憲子 ⑥太田有香 ⑦志田清香
⑧志田亜紀 ⑨増子璃莉香 ⑩高橋路子
- ◎鷹取RC**
①小田篤 ②玉木友鷹 ③玉木善行 ④佐藤仁
⑤大滝正樹 ⑥板垣達也 ⑦板垣友也 ⑧田巻峻
⑨笠川浩 ⑩室本良廣
- ◎補員**
太田めぐみ 大滝美来 大滝莉音 酒井知尋
佐藤徳 佐藤俊治 齋藤貴樹 高橋尚哉

朝日駅伝大会出場への取組

猿沢地域まちづくり協議会では、地域が一体となった取り組みとして、朝日駅伝大会に参加しています。今年で3年目であり、選手の募集、合同練習会の開催、スポーツ保険加入など、出場チームを全面的に支援しています。今年も練習にも趣向を凝らして、10月に「チャリティーリレーマラソン」を開催し、猿沢地域から元気を発信するとともに、社会福祉協議会へ募金を届けました。

11月3日(祝・月)、「第52回朝日駅伝大会」(10区間、34.3km)が行われ、猿沢地域からは4チーム、48人が出場しました。

大会当日は不安定な空模様で、特にレース前半の2区、3区、4区は大粒の雨。後半も区間によっては強い風が吹くなど、選手にとっては走りにくい天気でした。しかし、合同

練習会を通して結束力を高めた選手たちは、そんな悪条件も吹き飛ばすかのごとく、チームのために全力を出し切る事ができたようです。

大会終了後、猿沢コミュニティセンターで行われた「結果報告会」では、出席していただいた区長、公民館長から賛辞の言葉が選手へ送られ、選手からは走り終えた感想と来年への抱負を語っていただきました。その後の「交流会」でも、選手とその家族、スタッフはにぎやかに、楽しく交流を図りました。

これからも、心身ともに健全な住民性の高揚と、世代間交流の機会として、朝日駅伝大会に参加していきます。



公民館に飾られる手描きの鳥獣図

〔板屋越〕
集落の西、「城山」にあり、付近には「城ノ下」という地名がある。城主は深沢三郎であったとか、上杉氏家臣の原沢魁が居住したとも伝えられる。また、本庄繁長の時代、被官に「板屋古瀬右馬亮」の名も見える。領主の城館と言うより、本庄氏の猿沢城と、高根川対岸の関口城を結ぶ「支砦」と考えられる。
(渡辺正男)

〔雲石寺〕
開山は疎達和尚(村上市羽黒町「常福寺」四世)、越後朝日嶽大日如来参詣の時、宿坊にした草庵が前身であった。また、鎌倉時代初期、佐々木高綱の族某「大源」がこの地を開拓した時に、寺を建てたともいわれる。文政七(一八二四)年、十六世「仙翌」の代に、庫裏を増築したとされる。
〔多岐神社〕
文治二(一一八六)年に創立、祭神は多伎津姫命。善海という山伏が不動尊像を奉り、この地に安住したと伝えられる。また、源義経が布滝を参詣、「美しい滝」と言い残したという。明治二(一八六九)年に現在の「多岐神社」と改号し、明治四十一(一九〇八)年に社殿を新築、玖志神社(祭神は大己貴命、小彦名命)と合社した。
〔板屋越城跡〕
集落の西、「城山」にあり、付近には「城ノ下」という地名がある。城主は深沢三郎であったとか、上杉氏家臣の原沢魁が居住したとも伝えられる。また、本庄繁長の時代、被官に「板屋古瀬右馬亮」の名も見える。領主の城館と言うより、本庄氏の猿沢城と、高根川対岸の関口城を結ぶ「支砦」と考えられる。
(渡辺正男)

そばの収穫で交流

(川村栄三 川端)

10月19日、まほろば温泉の裏の畑(約10アール)で「そばの収穫」を行い、約40名の参加をいただきました。8月にまいたそばの種は、今年も順調に成長して、たくさんのそばの実をつけました。

午前9時、参加者全員でカマを使って、そばの刈取りがスタート。刈り取ったそばは、その場で束ねて、ブルーシートの上に運んでから、叩いて実を落としました。その後は、唐箕やふるいを使って、葉や莖、小石などを取り除きました。思っていた以上に大変な作業でしたが、笑顔があふれ、とても賑やかで、楽しい収穫体験でした。屋敷交流会では、豚汁や玉こんにゃくを美味しくいただきました。

12月7日には「そば打ち体験」が行われ、収穫に参加してくれた方にも参加していただき、自分で打った「手打ちそば」を味わっていただきました。



皆さん、存じますか?猿沢小学校前にできた大判焼き屋さん「しんべ」を。この店は猿沢の高橋文子さんが開いています。開店は3月中旬、5月59日のシーズンオフを挟んで10月から営業を再開しています。畑仕事がない冬の仕事として始めたそうなんです。全てが初めてのことで最初は大変だったそうですが、旦那さんをはじめまわりの人たちが助けてくれたそうです。今ではお店を通していろんな人と会話ができることが一番の楽しみだとか。楽しい会話とおいしい大判焼きを求めに、ぜひ寄ってみてください。



猿沢小学校前 大判焼き屋さん「しんべ」 営業時間 10時~15時(水曜日休み)



あとがき

最近「宮ノ下を考える若衆の会(仮称)」の活動で集落の同年代や若い人たちと触れあうことが多いです。消防団活動を引退すると、なかなかそういった人たちと接することもなくなるのですが、この活動のおかげで、今年も飲み会等をするようになりました。さらに、消防団活動でも全く重なることなく、どちらかという彼らのお父さんの方を知っているくらい、年が離れている若い人たちともつながり、楽しく気軽に活動しています。このメンバーたちと、来年も色々おもしろいことが出来ればいいなと思っています。(石田 光和 宮ノ下)

発行元・お問い合わせ

■発行 猿沢地域まちづくり協議会

■事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢5611番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)

■連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-0328
MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

■HP でも活動の様子を公開しております
http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/

冬のお楽しみ行事

12月	24日	子 猿沢小学校2学期終業式
	27日	ぶどうスキー場オープン(予定)
1月	1日	集 年祝い(猿沢)
	2日	みどりの里 初売りマクロ解体ショー
	7日	子 猿沢小学校3学期始業式
	10日	またぎの家 どぶろく新酒を味わう会
	11日	集 鳥追い(猿沢) さいの神(川端)
	12日	集 どんと焼き(下中島) さいの神(鵜渡路)
	中旬	集 団子の木飾り(寺尾)
	16日	子 団子の木飾り(猿沢保育園)
	18日	集 どんと焼き交流会(松原) ホイホイ(板屋越)
	22日	子 お茶会とコサージュづくり(猿沢保育園)
	下旬	集 よどりや祭(寺尾) どんと焼き(宮ノ下) どんと焼き(上野)
2月	上旬	みどりの里 能面こけし作品展
	中旬	集 雪像と雪灯籠づくり(寺尾)
	22日	子 あやこふれあいあそびの日(青少年育成市民会議)
	26日	子 6年生を送る会(猿沢小学校)
	下旬	みどりの里 まゆクラフト作品展

子 保育園・小学校行事 集 集落行事 茶 まちづくり協議会主催のイベント

あいさつ標語のお礼に 「小倉百人一首カルタ」をプレゼント!

百人一首カルタ」を寄贈することになりました。
猿沢小学校では、児童らが小倉百人一首の暗唱に取り組んでおり、休み時間には、校長室で「暗唱テスト」を開催しているそうです。また、12月に「全校カルタとり大会」を予定されているようです。猿沢地域の将来を担う子供たちの、教養と知性の骨格を育て、記憶力・国語力の向上に、少しばかりの「お手伝い」になればと思います。



今年の春、あいさつ+1(プラスワン)運動の標語を募集したところ、一般10作品、小学生38作品の応募がありました。入選作品は、本紙第9号(折込)で発表したほか、杉の子展覧会朝日地区文化祭に展示させていただきますました。
応募してくれた小学校児童への参加賞として、文房具などの配布を予定していましたが、みんなで使えるものとして、「小倉百人一首カルタ」を寄贈することになりました。

10月12日 猿沢地域一斉クリーン作戦

一人ひとりが、ちょっとだけ。

毎年この時期に実施しており、地域の皆様や各種団体にご協力をいただいています。
当日は、青空が広がり気持ちのいい朝でしたが、冷え込みが厳しく、参加者の多くはしっかりと防寒対策をして作業に臨みました。歩きながら、会話しながら作業を進めると、徐々に体温も上がり、さわやかな汗を流していたようです。
日頃、無意識にごみを捨ててしまったり、拾わずに見過ごしてしまうゴミが多いのではないのでしょうか。「地域をきれいにしたい」「ゴミは捨てないぞ」など、住民一人ひとりが、ちょっと



上野集落



糺路集落

だけ意識を高く持つ事が大切です。これからも、このクリーン作戦はずっと続いていくはずですが、地域全体の取り組みとしても定着してきます。年に一度、ご家族で参加していただき、地域を愛する心を育んでいきましょう。

昔の公民館活動に思い馳せ

11月23日、「猿沢秋の集い」(主催:公民館)を開催しました。今年は、区が主催する「注連縄作り」と一緒に実施しました。
午前中、大人は注連縄作り、子供たちは集落内の「宝探し」を実施しました。宝探しのヒントには、家の屋号などが入っていて、今の子供たちにはなかなか難しい様でした。
お昼からは、保育園児から八十代の年配者まで一堂に会して、集落の女性陣が作ってくれた「キノコおこわ」「芋煮」「玉こんにゃく」「酢の物」などをいただきながら、猿沢公民館で保存してきた集落行事を記録した「ビデオ観賞」を行いました。年配者は二十年前の映像を見て昔を思い出し、たいへん盛り上がりました。私も若かりし日の自分がそこに出ていることにびっくりでした。



昔の公民館活動はとても活発で、芸能祭や運動会、民謡流しなど、参加人員も多く、大規模な事業を実施してきたことに感謝を覚えました。(鈴木 信義 猿沢)



秋まつり、今年はお神輿が登場!

また、千葉県在住(寺尾出身)の方から、段ボール製の手作り「お神輿」がプレゼントされ、子供達が元気に神社の坂を担ぎ下りると、待ち構えた参加者からは歓声が上がりました。一段とお祭り気分を盛り上げました。
そのほかにも、ヨサコイソーラン、朝日音頭・カラオケ・ビンゴゲームなど、盛りだくさんで、集落をあげて、秋の一日を楽しむことができました。



10月12日、さわやかな秋晴れのもと、今年で2回目となる「寺尾の秋まつり」が開催され、子供からお年寄りまで約70人が参加しました。
この日は、土蔵に眠っていた杵と臼を使えるように準備していただき、母ちゃんが蒸したもち米を、男シヨや子供たちがつきあげ、きな粉やアンコで美味しくいただきました。



各集落

秋のイベント報告

下中島

上手にうどんができた!



が、今回はまちづくり協議会のそば打ち道具一式をお借りして、とても上手に作る事ができました。太さの揃ったうどんに感動です。

また、婦人部によるいも煮汁や、数種類の薬味や具材も準備していたので、色々な味で楽しむことができ、たくさん作ったうどんはあっという間に完食しました。

幅広い世代の方に参加していただき、とても良い1日になりました。(笠川 秀司 下中島)



10月26日、秋の収穫祭を開催しました。昨年までは、臼と杵を使って餅つきをしていましたが、今年は手打ちうどん作りをしました。小さな子供からご年配の方まで、無理なくできる行程でしたので、わいわいと楽しく、とても賑やかに作る事ができました。実は数年前にもうどん作りをやったのですが、麺の太さが揃わず大変でした。

「ドーン」という大きな音と共に「うおー」という歓声が。11月30日に宮ノ下集落で行われた「農林漁業祭」は、子供たちも参加して、今まではちょっと違った会となりました。
毎年この時期に行われている農林漁業祭は、お宮の冬囲いや清掃作業と、その後の、川で採った鮭を使った郷土料理をふるまった食事会が常でしたが、今回は、お昼の鮭を使った郷土料理の振る舞いを「井戸端の会」のお母さん方が担当し、「宮ノ下」を考える若衆の会(仮称)が「ドン菓子づくり」という催しを新たにを行いました。
1升のお米を機械に投入し20分位になると圧が1.1キロに上昇、それが完成の合図。栓した蓋をハンマーで叩くと「ドーン」という音と共に蓋が開き白煙が！すると前のカゴに出来上がったドン菓子がたくさん飛び出してきました。出来たドン菓子はチョコレートやキャラメル味など好きなシロップをかけてみんなでいただきました。子供たちは喜び、大人達は「なつかしいな」と言ってお食べしました。お昼の食事会にも子供たちが参加。天気にも恵まれ、とても楽しい時間をみんなで過ごしました。(石田 光和 宮ノ下)



宮ノ下 ドン菓子で楽しんだ農林漁業祭